

くすり一口メモ

新規過活動膀胱治療薬について

過活動膀胱の薬物療法では、抗コリン薬が広く使用されてきましたが、全身のムスカリン受容体遮断作用による副作用（口内乾燥、霧視、便秘など）を十分考慮する必要がありました。新規過活動膀胱治療薬として、2011年に世界初の³アドレナリン受容体作動薬であるミラベグロン（ベタニス[®]）が発売されました。ミラベグロンは抗コリン薬の副作用を回避できる可能性がある一方、副作用として脈拍数の増加、血圧の変動等の心血管系に対する影響が一般的に知られており、多種類の薬剤を服用する高齢者では、薬物相互作用に注意する必要があります。ミラベグロンに次ぐ³アドレナリン受容体作動薬としてピベグロン（ベオーパ[®]）が2018年に発売されました。類薬ミラベグロンと比較して、「生殖可能な年齢の患者には投与をできる限り避ける」という注意喚起（警告）がないことや心血管系に対する影響及び薬物相互作用が少なく、併用禁忌薬がないといった特徴があります。今回は、³アドレナリン受容体作動薬についてまとめました。

一般名	ミラベグロン	ピベグロン
商品名	ベタニス [®]	ベオーパ [®]
販売元	アステラス	杏林
発売年	2011年	2018年
規格	25mg, 50mg	50mg
薬価	25mg：110.5/錠, 50mg：185.7/錠	50mg：185.7/錠
作用機序	選択的 ³ アドレナリン受容体作動薬	
効能効果	過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁	
用法・用量	50mgを1日1回食後 中等度肝機能障害（Child-Pughスコア7-9）、 重度腎機能障害（eGFR15-29mL/min/1.73m ² ）では25mgから開始	50mgを1日1回食後
警告	生殖可能な年齢の患者への本剤の投与はできる限り避ける	-
禁忌	<ul style="list-style-type: none"> ・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ・重篤な心疾患を有する患者 ・妊婦及び妊娠している可能性のある婦人 ・授乳婦 ・重度の肝機能障害患者 ・フレカイニド酢酸塩あるいはプロパフェノン塩酸塩投与中の患者 	・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
併用禁忌	<ul style="list-style-type: none"> ・フレカイニド酢酸塩（タンボコール） ・プロパフェノン塩酸塩（プロノン） QT延長、心室性不整脈（Torsades de Pointesを含む）等を起こすおそれがある。ともに催不整脈作用があり、また本剤のCYP2D6阻害作用により、これらの薬剤の血中濃度が上昇する可能性がある	-
定期的な検査	<ul style="list-style-type: none"> ・心血管系障害を有する患者に対しては、本剤の投与を開始する前に心電図検査を実施するなどし、心血管系の状態に注意を払うこと ・QT延長を来すリスクが高いと考えられる患者に対しては、定期的に心電図検査を行うこと ・緑内障患者に本剤を投与する場合には、定期的な眼科的診察を行うこと ・本剤投与開始前及び投与中は定期的に血圧測定を行うこと 	-
主な副作用（発現頻度%）	-GTP上昇(3.7)、便秘(2.9)、CK(CPK)上昇(2.6)、ALP上昇(2.5)、口内乾燥(1.7)など	口内乾燥、便秘(各1.2) 尿路感染(膀胱炎等)、残尿量増加(各0.7) 肝機能異常、CK(CPK)上昇(各0.3)など

参考資料：添付文書

（鹿児島市医師会病院薬剤部 瀧下 恭子）